

先週のマーケット動向(2月24日~2月28日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,437.0	1,463.5	1,424.0	1,463.4	+29.1
JPY/KRW	9.6131	9.7929	9.5144	9.7521	+0.222
KOSPI	2,636.12	2,648.06	2,531.24	2,532.78	▲121.80

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初のドル/ウォンは1,437.0ウォンでオープン。独総選挙が事前予想通りの結果になったことや円高が進行したことからウォン買い地合いで推移。25日にBOK会合で利下げが決定されるとややウォン安推移となるも、こちらも事前織り込みが進んでいたことからドル/ウォンの上値は限定的だった。注目された米大手半導体企業の決算は良好な内容だったことで週央の為替相場は小動きで推移も、週後半にかけて米トランプ大統領がEUへの関税引き上げ、メキシコ・カナダへの関税を3月4日に引き上げること、中国に10%の追加関税を課すことを表明すると急速にリスクセンチメントが悪化。韓国株式市場から海外勢の資金流出が拡大するとともに人民元売安推移もウォン売りを誘った。ドル/ウォンは前週末比+29.1ウォンの1,463.4ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

米関税を巡る懸念が再燃する中で、今週のドル/ウォン相場は軟調地合いでの推移が予想される。今週は米重要経済指標の発表も続き、経済・雇用の情勢についても注目が集まる展開となろう。韓国については月初に発表された2月貿易黒字額が予想比下振れ。輸出の鈍化についても懸念される状況でこちらもウォン売り材料か。今月中旬には尹大統領の弾劾裁判の結果が判明する見通しもあり、政治イシューが再燃する可能性にも注意したい。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1440 ~ 1470	9.60 ~ 9.90	147.5 ~ 150.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 3日(月) 米 2月 製造業PMI 確報値
欧 2月 製造業PMI 確報値
米 2月 ISM製造業景況指数
- 4日(火) 日 1月 失業率
- 5日(水) 欧 2月 サービス業PMI 確報値
米 2月 サービス業PMI 確報値
米 1月 耐久財受注 確報値
韓 4Q GDP 速報値
米 1月 製造業受注
中 2月 総合PMI
中 2月 サービス業PMI
米 2月 ISM非製造業景況指数
米 2月 ADP雇用統計
- 6日(木) 米 3月 失業保険新規申請者数
欧 ECB 政策金利発表
韓 2月 CPI
- 7日(金) 欧 4Q GDP 確報値
米 2月 非農業部門雇用者数
米 2月 失業率
韓 1月 国際収支

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。